

NTTテレコンら

大田市で鳥獣被害対策DX

中山間地域の課題解決をめざし協定書を締結

NTTテレコン中国支店とテミクス・グリーン、マプリイ、セールスフォース・ジャパンの4社は、生成AIを活用した農政、鳥獣被害対策DXの実現に向け、島根県大田市と協定書を締結した。

今回の取り組みは、各社が保有するノウハ

ウ・ソリューションを組み合わせることで、農政・鳥獣被害対策のDXを推進するものだ。中山間地域における行政手続きや鳥獣被害対策の高度化、自動化を通じて、地域の課題解決をめざす。

NTTテレコンは、ガスや水道の遠隔検針の通信技術を活用し、さまざまなセンシングに既存の通信端末を応用している。

今回の取り組みでは、鳥獣被害対策の箱わな、くくりわなの作動検知を遠隔でも可能とするため、中山間地域の電波微弱地帯、電波不感地帯における通信可否について電波調査などを行い、適切な通信端末を選定する。